

# 道路陥没事故に関する かわら版

令和7年5月10日号  
発行元：埼玉県下水道局  
(令和7年5月 2日発行)

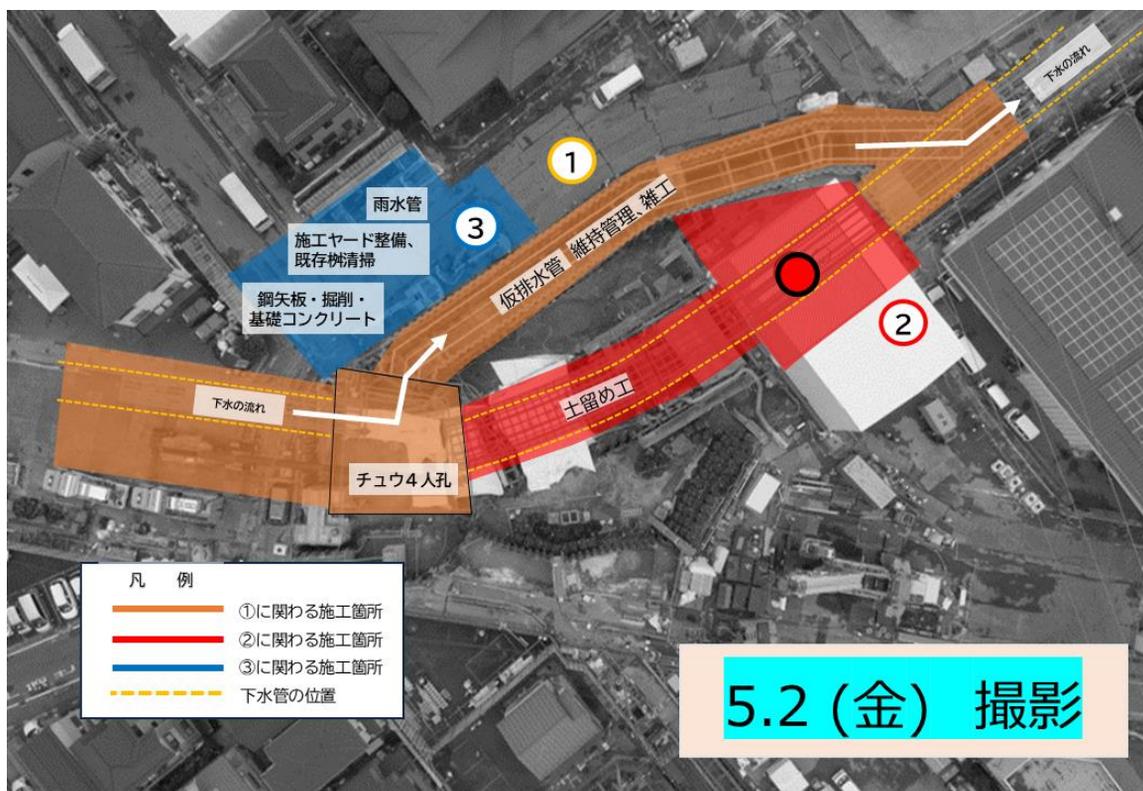
令和7年1月28日に中央1丁目県道付近で発生いたしました、中川流域下水道管の破損に起因すると思われる道路陥没事故により、地域の皆様には多大なるご不便、ご不安な思いをおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

これまで昼夜を問わず工事を進めてまいりましたことで、近隣の皆様には長期間にわたり多大なご迷惑とご不便をおかけしてきましたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

皆様にご理解とご協力いただき、仮排水管によるバイパス工事等を予定よりも早く進めることができました。

今後の復旧工事につきましては、緊急時を除き、夜間の工事を終了し、昼間の時間帯に工事を進めてまいります予定で、引き続き地域の皆様へのご迷惑を最小限に抑えるよう、細心の注意を払いながら工事を進めてまいります。何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

## ■ 5月上旬～5月下旬の主な工事について



図示	工事内容	今週 5月4日～5月10日	来週 5月11日～5月17日	再来週 5月18日～5月24日
①	【バイパス工事(仮排水管)】 現在の下水を迂回させるための工事です	4/24完了 維持管理、雑工		
②	【下水管渠復旧工事】 下水管渠を仮復旧するための工事です		土留め工	
③	【雨水管復旧工事】 雨水管を仮復旧するための工事です	施工ヤード整備、既存樹清掃		
			水替え工	
				鋼矢板・掘削・基礎コンクリート

※ 上記の工程は、天候や施工状況により変更する場合があります。

## ■ 復旧工法検討委員会について

流域下水道管の破損に起因すると思われる道路陥没事故の復旧工法について検討するため、委員会を設置しています。

委員 日本大学生産工学部教授 森田 弘昭 (委員長)  
東京都立大学都市環境学部教授 砂金 伸治  
日本大学生産技術研究所教授 桑野 玲子  
国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所地質・地盤研究グループ長 宮武 裕昭  
国土交通省国土技術政策総合研究所上下水道研究部下水道研究室長 安田 将広

第1回委員会では、本委員会の進め方、流域下水道管の復旧工法について議論をいただきました。

また、第2回委員会では、これまでの工事実施状況と当面の工事概要、破損した下水道管の復旧方法、今後の抜本的な対策の方向性について議論をいただきました。

これを受けて第3回委員会が4月23日(水)に開催されました。

はじめに、第2回委員会以降の工事の進捗状況について、概ね順調に進んでいることを報告しました。

次に、第2回委員会での議論・助言等を踏まえて検討を進めた「破損した下水道管の復旧方法」について、説明しました。

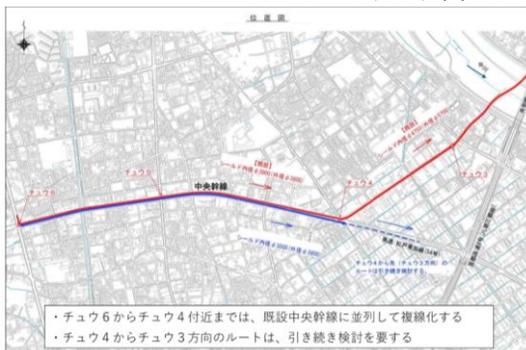
下水道管が破損した区間に新たに設置する管と、破損していない区間の既設管との接合部分は特に注意が必要となるため、腐食対策の観点から材料や構造に関する留意点や、実際に施工する際の留意点等について、議論・助言等をいただきました。

次に、今後の抜本的な対策として、中央幹線下流部の劣化状況等を踏まえ、維持管理性やリダンダンシー\*確保の観点より、複線化を行っていく方針であることを、改めて説明しました。

また、この中央幹線下流部の複線化のルート検討の状況について説明するとともに、一連区間の工事に概ね5～7年程度かかることが見込まれることなどについても説明しました。

委員からは、早期の効果発現を図るための段階的な整備や、経済性の観点などを踏まえて、引き続き検討を進めていただきたい旨の発言をいただきました。

\*リダンダンシー：「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながるように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。



### ■ 道路陥没事故に関する情報について

かわら版は、毎月10日、25日を目安に配布させていただく予定です。

また、埼玉県下水道局のホームページからご確認いただけます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/c1502/news/nakagawa0128.html>

### ■ 電話相談窓口 (専用ダイヤル)

電話番号 : 048-830-5988

時間 : 午前9時から午後5時

